

てのうちあいこう  
手々農地愛好クラブ

とくのしまちょう  
(鹿児島県徳之島町)

- 本地区は、徳之島の北部、徳之島町の北端に位置し、主としてさとうきびや野菜類が生産されています。
- 農業者の高齢化や地域住民の減少が進む中、今後とも農業振興を図るためには、農地や農道・水路等の農業用施設、農村環境を地域共同活動により適切に保全管理することが必要である。
- 農家及び非農家と協力して、農道の草刈りや農業用排水路等の泥上げ清掃活動を行い維持管理を行っている。

- ・取組面積：47.0ha（畑）
- ・資源量：水路 2.5km, 農道 8.4km
- ・主な構成員：農業者, 非農業者, 自治会
- ・交付金：約144万円(R2)  
農地維持支払94万円  
資源向上支払 50万円(共同)

### 活動開始前の状況や課題

- 耕作者の高齢化及び担い手不足に伴い、農業用排水施設や農道、遊休農地になりうる農用地が増加している傾向にあり、維持管理を行うことが難しい状況であった。
- 猪被害が増加しており、今後、電気柵やワイヤーメッシュ柵等の設置・補修の対策が必要。
- 台風や大雨等の災害時には、側溝等に堆積した土砂の影響により、水路が冠水し機能しなくなる。それに起因し、農地・農用地・農道等に多大な影響がある状況。



### 取組内容

- 排水路や沈砂地については、重機を使用し、堆積した土木等の除去・泥上げ等を実施。
- 猪柵被害については、猪柵点検作業を行い、補修が必要な箇所については、複数名による作業で補修を実施。
- 保全作業として、農道・農用地法面等の草刈りを実施し、維持管理を実施。



### 取組の効果

- 台風や大雨の異常気象後に点検作業等を行い、早急な対応が必要な箇所への作業を実施し、営農環境が守られている。
- 猪柵の点検・診断、補修作業が行われることにより、農作物への被害が軽減された。
- 共同活動を行うことにより、構成員の農業用施設の保全意識と、地域住民との連携を取り、農村環境への協力体制が整った。





農道の草刈り作業



農道等の点検作業

**きっかけ**

- ・耕作者の減少や高齢化により農地周辺の環境維持が困難
- ・集落全体の活性化

**Step1 (～H18)**

手々農地愛好クラブ  
結成前

- 高齢化が進み、農業用排水施設の維持管理・保全等が困難になりつつあった。
- 大雨や台風等の異常気象時には、土砂が側溝等に堆積し、農道や農用地まで影響があった。

**Step2 (H19～)**

手々農地愛好クラブ  
結成

- H19より農地・水・環境保全向上対策事業に取り組む。
- 農業用排水施設や農道の維持管理等を行う。

**Step3 (H26～)**

農業施設の維持管理  
に対する取組の強化

- H26より多面的支払交付金事業となることを受け、継続して活動を実施する。
- 農業関連施設の維持管理についても取組を強化。



伐採撤去後の沈砂地



側溝の泥上げ



異常気象後の見回り



猪柵周囲伐採・点検

**将来に向けて**

- 今後も共同活動の継続実施により、農業用施設の維持管理においては、行政機関と連携を取りつつ行うこととし、地域の農業(農地)は地域で守るという意識の高揚を図りたい。
- 猪被害を未然に防ぐため、今後の対策を協議していく必要がある。

今後の展望

**Step5**

取組内容の向上

- 取組を通して、高齢化が進む中、作業継続が難しい状況にあったが地域住民との共同活動にて農道や農用地法面の草刈り作業等を行うことで、地域の農業用施設を守ることができた。

**Step4 (H31～)**

活動の更新

- 高齢化による保全作業が難しい状況にあったが、地域住民も協力し合い、農業用施設を守ることができた。
- 異常気象後の施設点検・対応の取組みを強化実施。